

技工室

連絡先 022-717-8421 (中央技工室)



CT画像から下顎骨モデルを製作



3Dスキャニングし耳介エピテーゼを製作

特色

技工室は、従来型の歯科技工に加え、CAD/CAM システムを導入し、歯科インプラント埋入後の上部構造体やカスタムアバットメント、CAD/CAM冠等の製作をしています。また、専門技術を活かしたオールセラミッククラウンや顎骨欠損に対する顎義歯(広範囲顎骨支持型補綴)及び顔面部分欠損の補綴(エピテーゼ)など、患者さんのQOL向上に直結した大学病院ならではの臨床にも貢献しており、2020年度の院内歯科技工物製作件数は4,109個に及んでおります。

2015年度からは、周術期口腔支援センターの開設に伴い、気管挿管に使用する歯の保護装置、顎間固定用スプリントや止血床などの歯科技工物を迅速に製作しています。また、3Dスキャナーや3Dプリンターのデジタル技術を導入し、術前顎骨モデルやガイドの製作ができる環境を整えております。私たち歯科技工士は、専門技術を活かし医科歯科連携に役立つ技工物の提供に取り組み、病院診療に幅広く貢献したいと考えております。



室長
江草 宏